

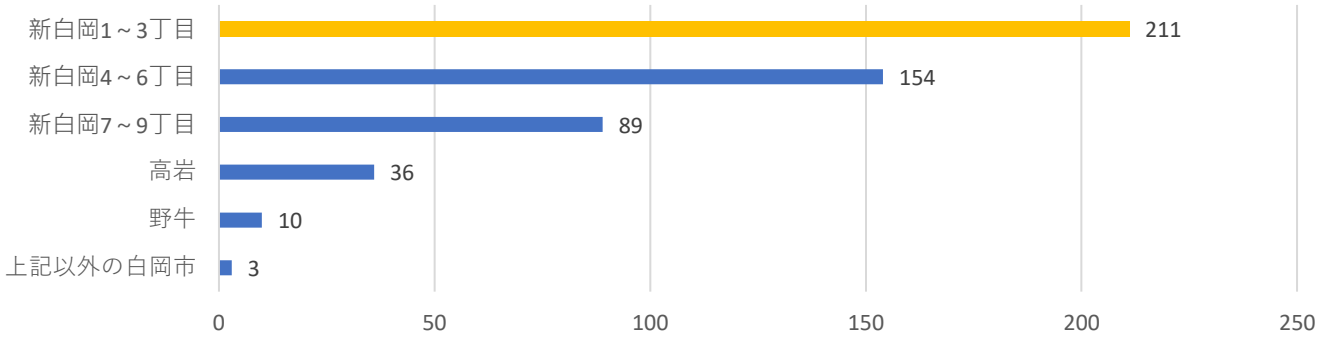
# 「新白岡駅周辺のにぎわいづくりに関するアンケート」報告書

## 調査目的

新白岡駅周辺の賑わいづくりに関するアンケートの目的は、新白岡駅周辺地域の発展に関する情報を収集し、住民の意見を反映させることです。調査を通じて、地域のニーズや期待に応える施策を検討し、新白岡駅周辺の魅力を向上させるための具体的な提案を策定することになります。

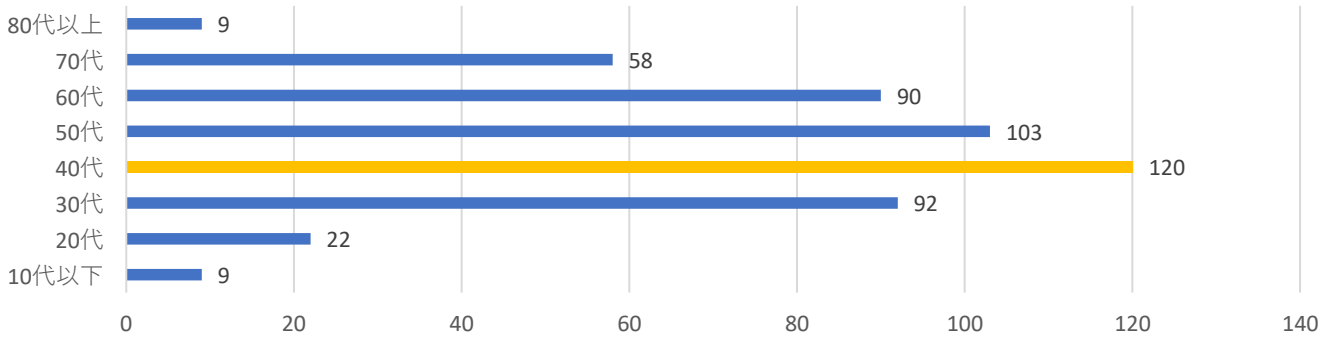
- 調査対象：10代以下～80代以上
- 調査方法：広報誌にチラシを封入し、アンケート用紙とwebサイトから二通の回答方法を実施
- 対象地域：新白岡1丁目～9丁目・高岩地区・野牛地区・左記以外の白岡市
- 調査期間：令和5年9月1日～令和5年9月24日
- 配布枚数：4600枚
- 有効回答：503票（回収率10.9%）
- 協働：白岡市役所まちづくり課・街活性室株式会社

## 問1. お住まいについて



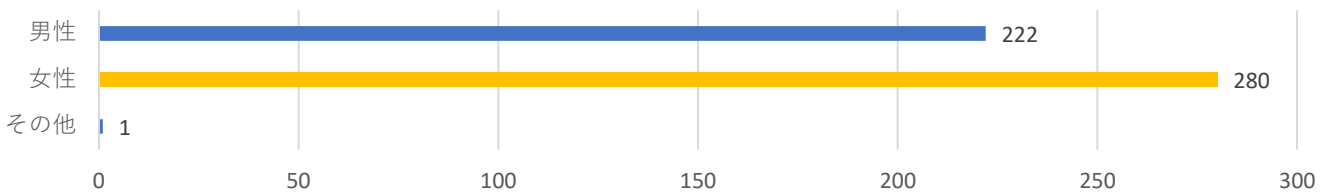
新白岡1丁目から3丁目の住民の関心度が、地域全体で最も高く、一方で、駅からは少し距離のある高岩地区と野牛地区の住民はあまり関心を示していない。

## 問2. 年代について



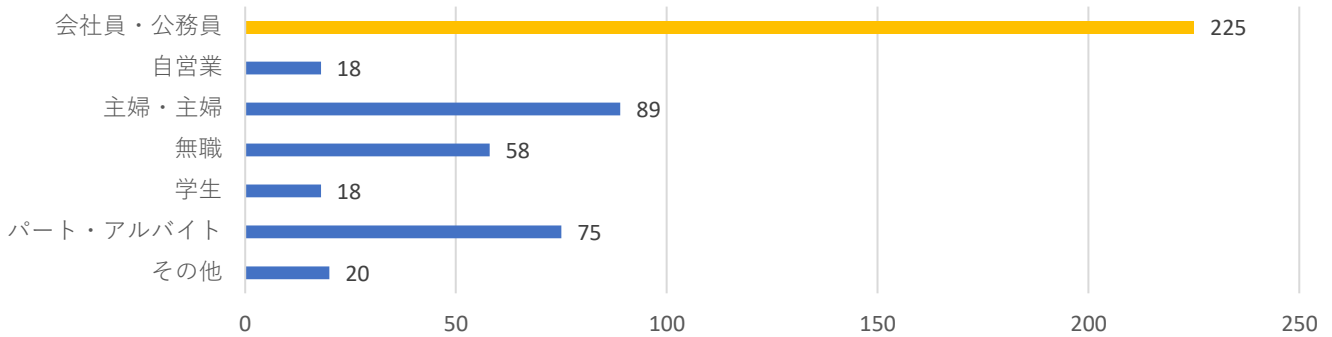
異なる世代から均等に回答が寄せられ、バランスの取れた調査結果となった。特筆すべきは、今後のリーダーとなる可能性のある若手世代（30代、40代、50代など）が、非常に高い関心を示している。

## 問3. 性別について



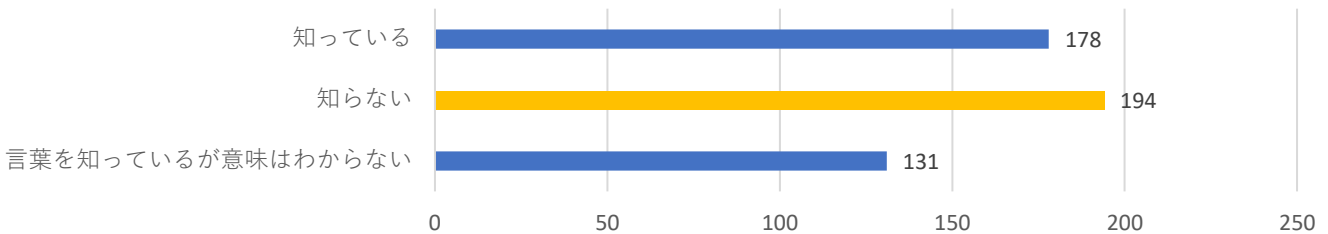
男性よりも女性の方が高い関心を示している。アンケートの対象となる地域に住む女性は、自身の地域やコミュニティに強い関心を持っている。

#### 問4. 職業について



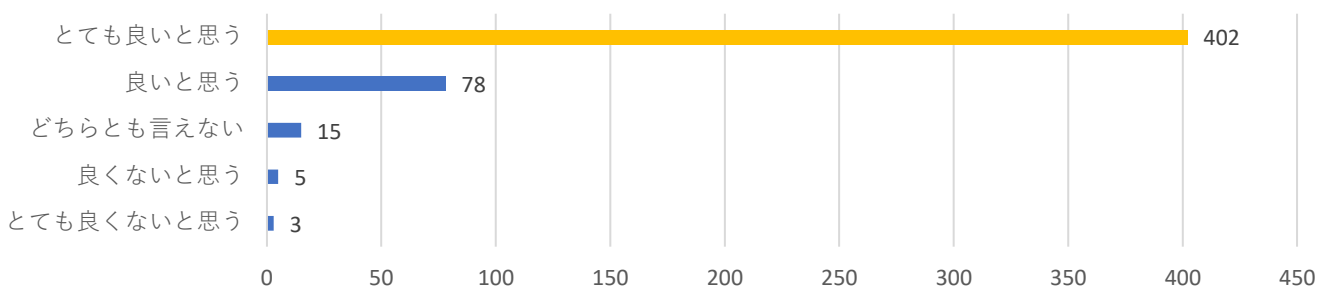
会社員と公務員は、地域の人口の約半数を占めており、具体的には225人（44.7%）となっている。これは、地域社会での活動に積極的に関与している層が、単にパートタイムやアルバイト、または専業主婦だけでなく、会社員や公務員にも広がっていることを示している。

#### 問5. 「エリアマネジメント」を知っていますか？



エリアマネジメントについて知っていると回答した人の割合は178人（26%）となっている。新白岡地域においてエリアマネジメントの知識が一部の人には存在するものの、まだ多くの人にとっては未知の領域であることが示している。したがって、今後もエリアマネジメントの成功を促進するために、地域内での周知活動を継続する必要がある。

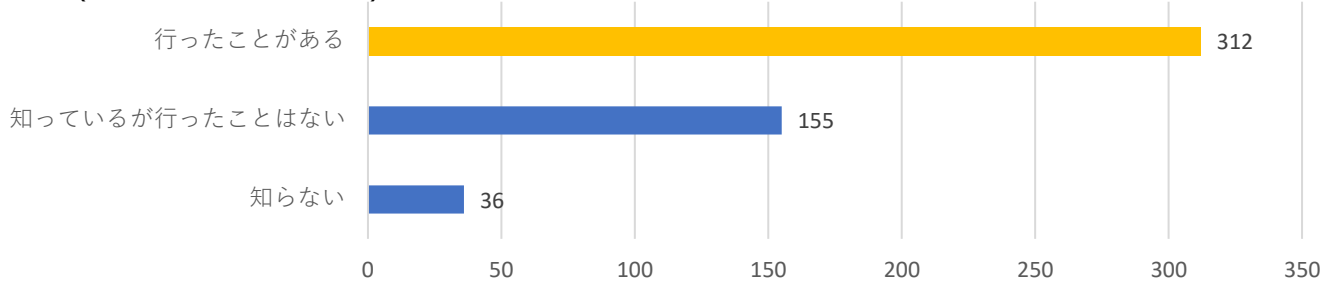
#### 問6. 新白岡駅周辺の利便性が高まり、安全でにぎわいのあふれるまちになることについてどのようにお考えですか。（お気持ちに一番近い回答を1つ選択）



新白岡駅周辺の利便性向上に対する評価は非常に高く、非常に肯定的な意見を持つ人が402人（79.9%）となっている。これは、今後、新白岡地域を活性化させるために非常に重要な一歩であり、住民の満足度向上に寄与する可能性が高いことを示している。

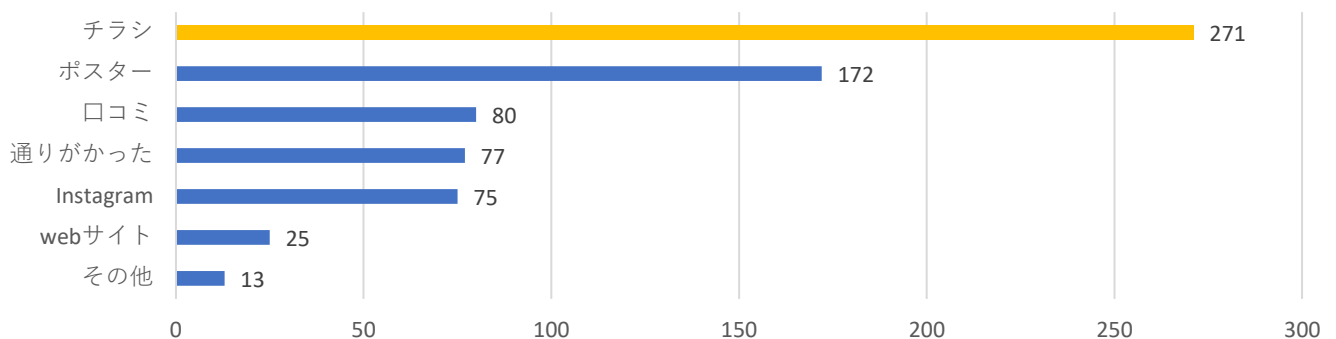
## 問7. 新白岡駅周辺や公園で開催されているマルシェを知っていますか。

(該当する回答を1つ選択)



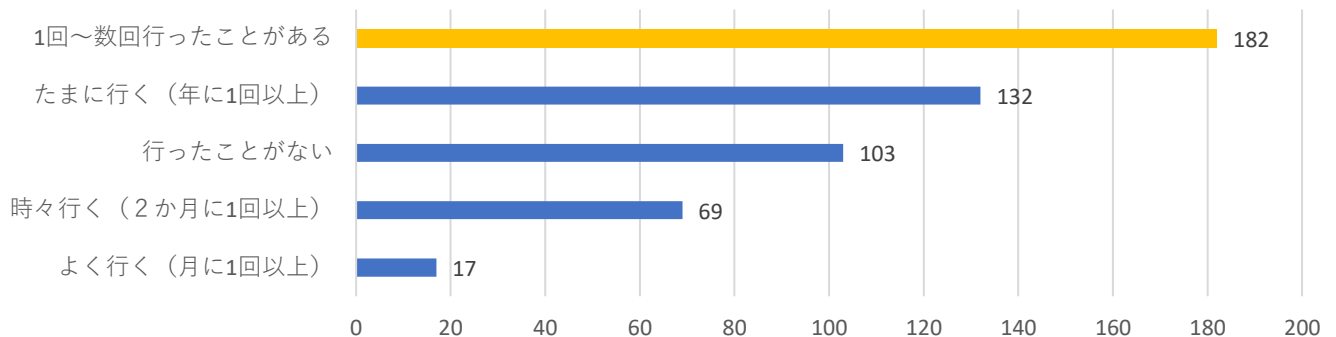
マルシェに行った経験のある人の割合が312人（62%）というデータから、新白岡地域におけるマルシェの認知度が非常に高いことが示している。この高い認知度を活かし、今後も賑わいを中心とする活動を継続することで、新白岡駅周辺の住民の満足度向上に寄与する可能性が高いと考えられる。

## 問8. (問7で行ったことがある、知っているを選択された方) 新白岡駅周辺や公園で開催されるマルシェを何で知りましたか。(複数回答可)



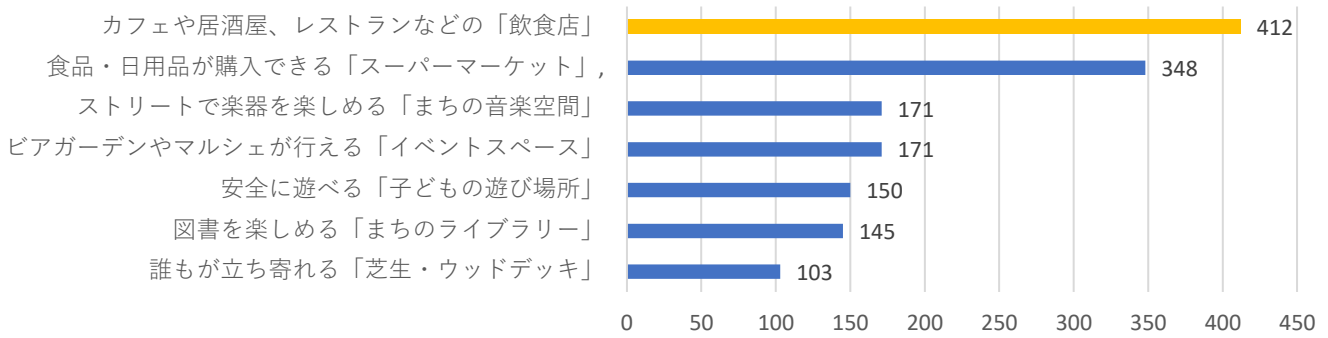
調査によれば、272人（60.2%）がチラシを通じてマルシェの存在を知ったことになる。この結果は、紙媒体が情報伝達手段として効果を高いことを示している。しかし、同時にSNSなどのソーシャルメディアが十分に活かされていないことも示している。

## 問9 (新白岡に限らず) 広場や公園などで行われるマルシェやフリーマーケット等の屋外販売イベントに行ったことはありますか。



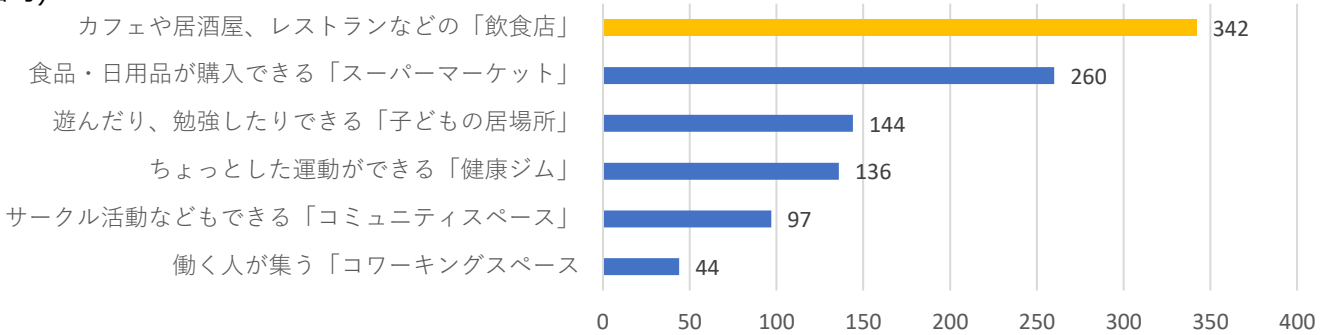
マルシェなどの屋外販売イベントに参加したことがあるが、頻繁に利用しているとは言えない。1回から数回参加した経験が182人（36.2%）たまに参加するが132人（26.2%）となっていることから、コンセプト、価格設定、広報などを再度見直し、長期的な視点でマルシェのブランディングを強化する必要がある。

問10. 「新白岡駅周辺」にどのような機能・空間があると嬉しいですか。(複数回答可)



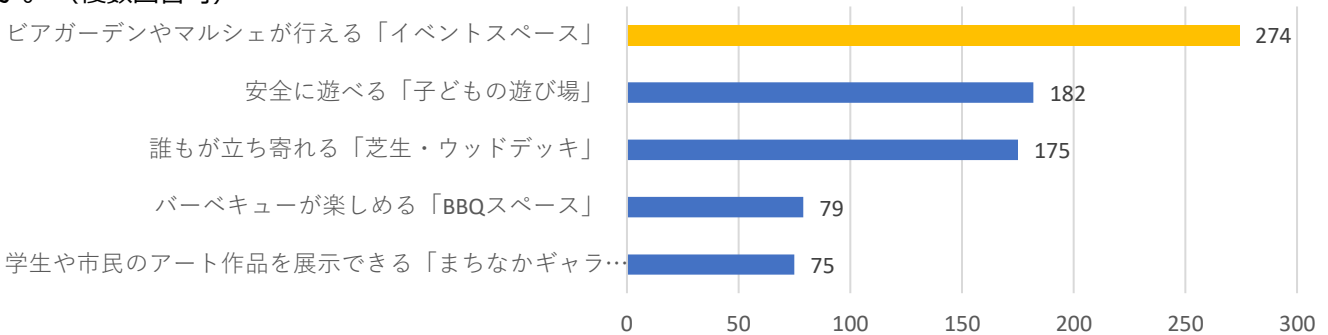
飲食店（カフェ、居酒屋、レストラン）への需要は最も高く、外出して食事を楽しむことや友人、知人、家族との食事を求めている。また、次に食品・日用品が購入できる「スーパーマーケット」が高い需要がある。駅前には食品や生活必需品を入手する場所が少ないため、日常生活において不便を感じる住民が多いと思われる。

問11. 昨年閉鎖した「東口駐輪場」にどのような機能・空間があると嬉しいですか。(複数回答可)



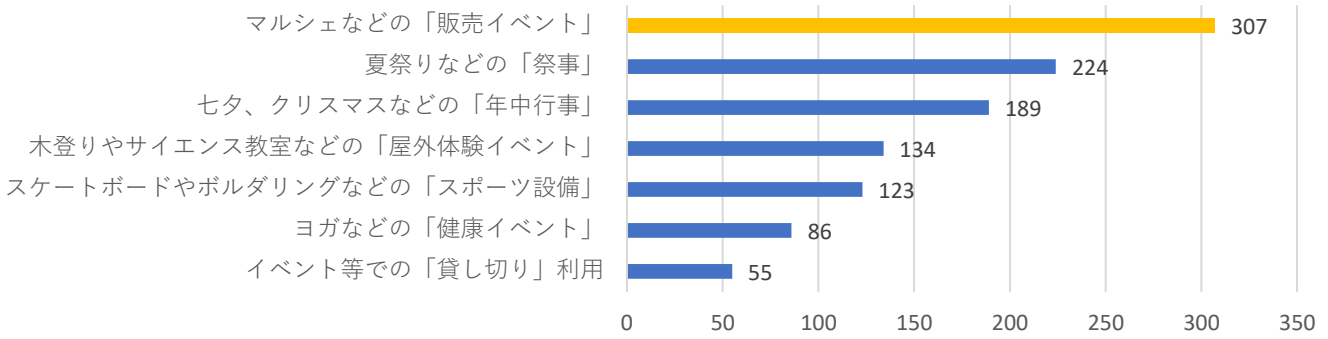
質問10と同様に東口駐輪場の利用についても、飲食店（カフェ、居酒屋、レストラン）への需要が最も高く、次に食品・日用品が購入できる「スーパーマーケット」が高い需要がある。東口駐輪場の利用方法を考えると、シェアキッチンを整備し、食事やドリンクを提供できる環境を整えるのが現実的だと考えます。また、子供の居場所や健康ジム、コミュニティスペースの要望から、コミュニティセンター機能を兼ね備える施設へのリノベーションが住民の満足度向上に寄与する可能性が高いと考える。

問12. 新白岡駅東口の「交番北にある空地」にどのような機能・空間があると嬉しいですか。(複数回答可)



交番北にある空き地について、マルシェや販売イベントへの需要が最も高く、次に安全な子供の遊び場が高い需要がある。交番北にある空き地は、子供たちの成長をサポートし、住民交流を促進する重要なコミュニティリソースとして、住民から期待が寄せられている。

問13. 新白岡駅周辺にある「公園」にどのような機能・イベントがあると嬉しいですか。  
(複数回答可)

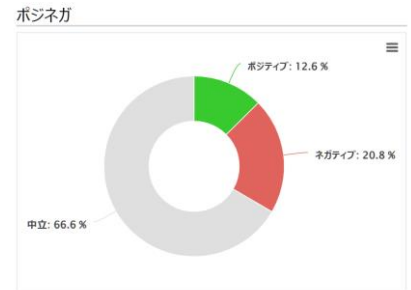
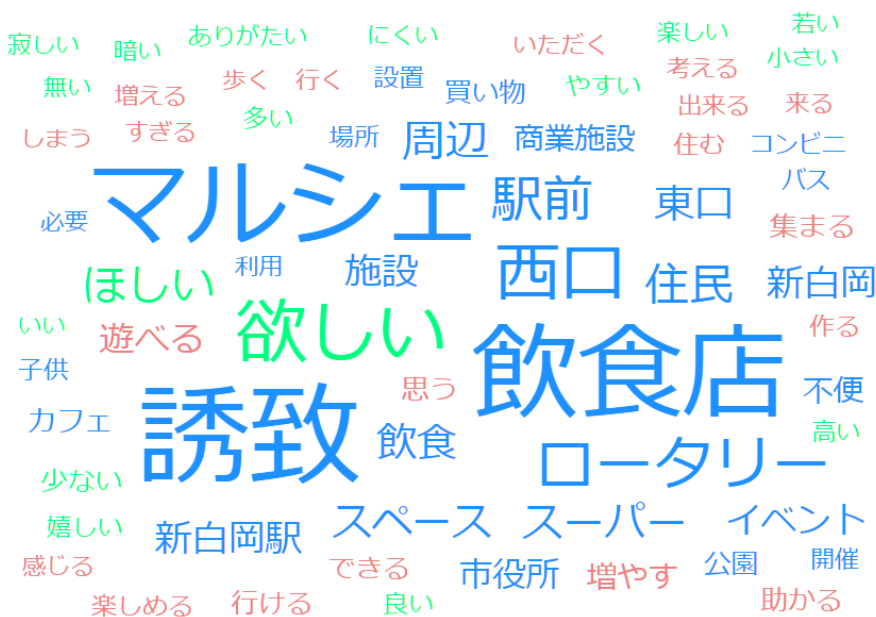


質問12. 同様に、公園の利用に関して、マルシェなどの「販売イベント」が最も需要が高く、次に夏祭りなどの「祭事」が需要が高い。住民の交流の場としての賑わいを創出し、新白岡駅周辺全体に活力をもたらすために、公園の役割や運用方法について今後検討する必要があると考える。

問14. 今後、新白岡駅周辺でやってほしいことなどがあれば、ご記入ください。

フリーコメントは別紙参照。

下図はフリーコメントの結果を元に高頻度で出現する単語を抽出しています。(青:名詞 / 赤:動詞 / 緑:容詞)  
高頻度で出現する単語を分析することで、新白岡駅周辺の住民の潜在的なニーズを視覚的に表現しています。

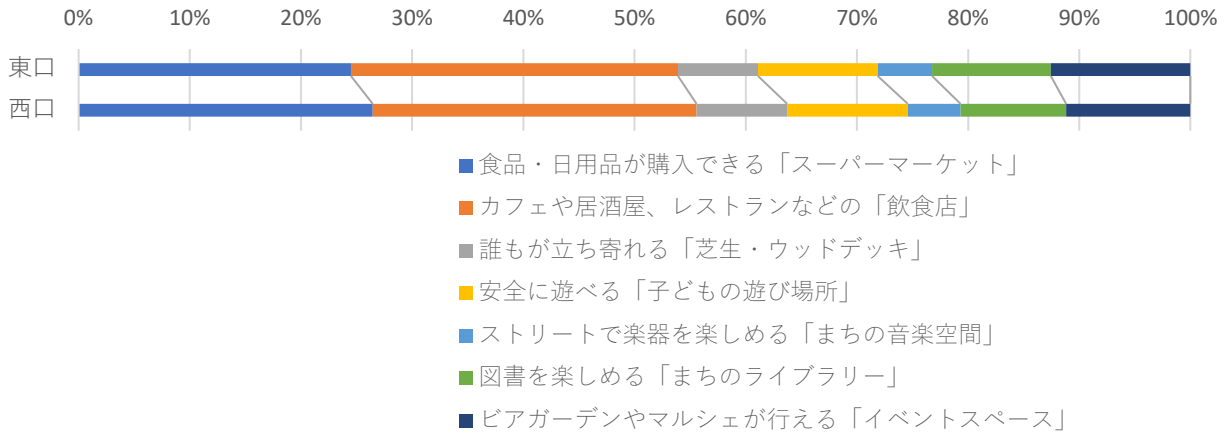


住民からの要望として、新白岡駅周辺には飲食店やスーパーマーケット、ドラッグストアなどの商業施設が不足しているという声が多くあります。また、子供向けの施設やイベントの充実も求められています。さらに、駅周辺の環境整備や防犯対策、公共施設の充実なども要望されています。住民の中には、新白岡の街の活性化や魅力的なイベントの開催を希望する声もあります。西口の開発や商業施設の誘致についても意見が寄せられています。また、駅周辺の街路樹や花壇の整備、景観の向上も求められています。総じて、住民は新白岡の街の発展と利便性の向上を望んでいます。(AI文章要約より)

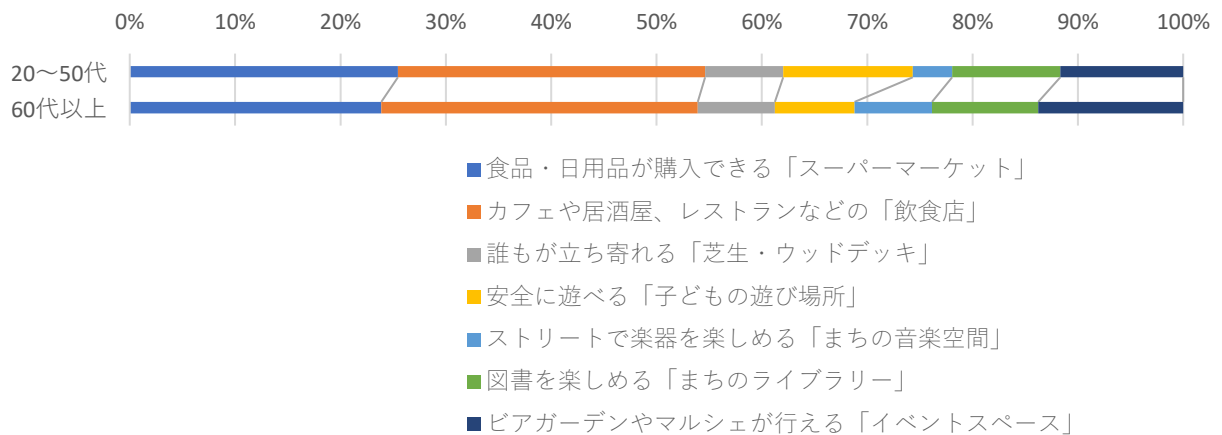
問10. 「新白岡駅周辺」にどのような機能・空間があると嬉しいですか。(複数回答可)

### クロス集計

問10. 「新白岡駅周辺」にどのような機能・空間があると嬉しいですか。	東口	西口	その他	合計
食品・日用品が購入できる「スーパーマーケット」	269	78	1	348
カフェや居酒屋、レストランなどの「飲食店」	323	86	3	412
誰もが立ち寄れる「芝生・ウッドデッキ」	79	24	0	103
安全に遊べる「子どもの遊び場所」	118	32	0	150
ストリートで楽器を楽しめる「まちの音楽空間」	54	14	1	69
図書を楽しめる「まちのライブラリー」	117	28	0	145
ビアガーデンやマルシェが行える「イベントスペース」	138	33	0	171



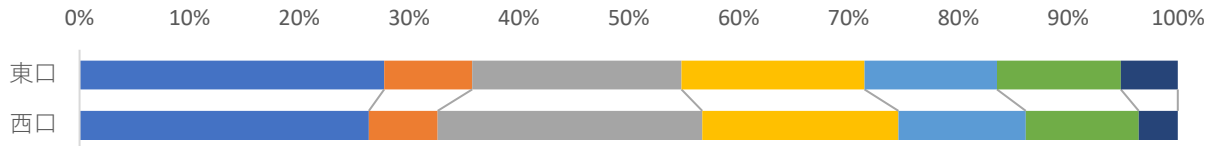
問10. 「新白岡駅周辺」にどのような機能・空間があると嬉しいですか。	10代以下	20～50代	60代以上	合計
食品・日用品が購入できる「スーパーマーケット」	4	240	104	348
カフェや居酒屋、レストランなどの「飲食店」	6	275	131	412
誰もが立ち寄れる「芝生・ウッドデッキ」	1	70	32	103
安全に遊べる「子どもの遊び場所」	1	116	33	150
ストリートで楽器を楽しめる「まちの音楽空間」	2	35	32	69
図書を楽しめる「まちのライブラリー」	4	97	44	145
ビアガーデンやマルシェが行える「イベントスペース」	1	110	60	171



問13. 新白岡駅周辺にある「公園」にどのような機能・イベントがあると嬉しいですか。  
(複数回答可)

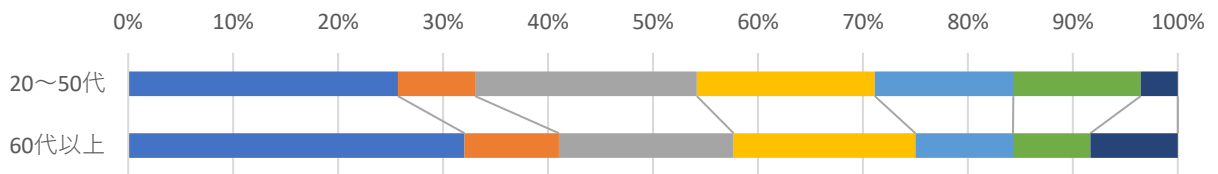
### クロス集計

問13. 新白岡駅周辺にある「公園」にどのような機能・イベントがあると嬉しいですか	東口	西口	その他	合計
マルシェなどの「販売イベント」	246	59	2	307
ヨガなどの「健康イベント」	71	14	1	86
夏祭りなどの「祭事」	169	54	1	224
七夕、クリスマスなどの「年中行事」	148	40	1	189
木登りやサイエンス教室などの「屋外体験イベント」	107	26	1	134
スケートボードパークやボルダリングなどの「スポーツ設備」	100	23	0	123
イベント等での「貸し切り」利用	46	8	1	55



- マルシェなどの「販売イベント」
- ヨガなどの「健康イベント」
- 夏祭りなどの「祭事」
- 七夕、クリスマスなどの「年中行事」
- 木登りやサイエンス教室などの「屋外体験イベント」
- スケートボードパークやボルダリングなどの「スポーツ設備」
- イベント等での「貸し切り」利用

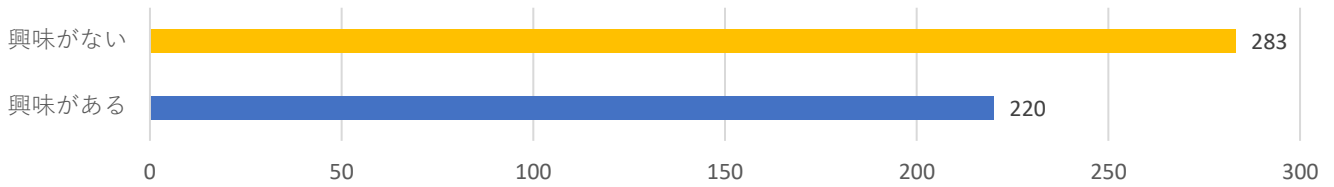
問13. 新白岡駅周辺にある「公園」にどのような機能・イベントがあると嬉しいですか	10代以下	20～50代	60代以上	合計
マルシェなどの「販売イベント」	4	203	100	307
ヨガなどの「健康イベント」	0	58	28	86
夏祭りなどの「祭事」	5	167	52	224
七夕、クリスマスなどの「年中行事」	1	134	54	189
木登りやサイエンス教室などの「屋外体験イベント」	1	104	29	134
スケートボードパークやボルダリングなどの「スポーツ設備」	4	96	23	123
イベント等での「貸し切り」利用	1	28	26	55



- マルシェなどの「販売イベント」
- ヨガなどの「健康イベント」
- 夏祭りなどの「祭事」
- 七夕、クリスマスなどの「年中行事」
- 木登りやサイエンス教室などの「屋外体験イベント」
- スケートボードパークやボルダリングなどの「スポーツ設備」
- イベント等での「貸し切り」利用



問15. 現在、新白岡エリアマネジメントでは、新白岡駅周辺の地域のにぎわいづくりや生活利便性の向上などのかつそうに興味のある方々を募集しています。ご興味がありますか。



新白岡駅周辺の住民の中で、220人（43.7%）が新白岡エリアマネジメントに何らかの形で興味を持っている。関心を寄せている住民に対して、より効果的なアプローチを検討することが、街の活性化につながる可能性につながると考える。

## 考察

新白岡地域の住民に関する調査結果を考察すると、地域内で明らかな関心度の差異が浮かび上がる。具体的には、1丁目から3丁目の住民が地域全体で最も高い関心を示しており、一方で高岩地区と野牛地区の住民は相対的に低い関心を持っていることが分かる。

さらに、年代別の関心度を観察すると、若手世代（30代、40代、50代など）が特に高い関心を示しており、今後の地域リーダーとしての潜在的な役割を果たす可能性があり、そのため、彼らへのアプローチ方法を検討する必要がある。

性別に関しては、女性が男性よりも地域への関心を高く持っており、女性層が地域やコミュニティに強い関心を抱いていることが分かる。また、高齢者や主婦層だけではなく、会社員と公務員が地域社会においても、エリアマネジメントに高い関心を示す傾向が見受けられる。仕事をしている関係で時間を割くことは難しい世代だが、デジタルツールを活用して、地域住民全体でのSNSなどの情報発信など、時間をかけずに参加できる方法も検討する必要がある。

新白岡地域においてエリアマネジメントの知識が一部の人には存在するものの、まだ多くの人にとっては未知の領域であることが分かる。したがって、今後もエリアマネジメントの成功を促進するためには、地域内での周知活動を継続する必要がある。

マルシェなどの屋外販売イベントに参加したことがあるが、頻繁に利用しているとは言えない。したがって、コンセプト、価格設定、広報などを再評価し、長期的な視点でマルシェのブランディングする必要がある。マルシェの運営方法を定期的に再評価し、長期的な視野で賑わいを創出し、地域とのコミュニティの場として活性化することが必要を考える。

東口駐輪場に関しては、飲食店（カフェ、居酒屋、レストラン）への需要が最も高く、次に食品・日用品が購入できる「スーパーマーケット」が高い需要があることが指摘されている。また、住民からの要望によれば、東口駐輪場には「コミュニティスペース」や「イベントスペース」などの利用も望まれており、シェアキッチンとコミュニティセンターの機能を兼ね備えた施設にリノベーションすることにより、地域の需要や利便性向上に寄与する可能性があると思われる。交番北の空き地は、マルシェや販売イベントへの需要が高まっており、同時に安全な子供の遊び場が求められている。これら両方の機能を整備することで、住民同士の交流が促進され、地域の満足度向上につながる可能性が高いと考えてと考える。